

# 混合在庫で納品するメリット

ここではアマゾンFBAへの納品方法の1つである、**混合在庫**について説明していきます。

混合在庫とは、アマゾン本体の在庫・マーケットプレイス出品者（一般の出品者）の新品の商品を、FBA倉庫で一色単にして管理するシステムのことを言います。

つまり、Aという商品が売れた時に購入者の手元に届く商品は、アマゾンもしくは出品者の誰かが納品したAという商品になるということです。

従来は、出品者のストアで買った商品は、出品者が納品した商品が購入者のもとに届きます。

ここが大きな違いです。

今のままだと、何故混合在庫にする必要があるのかが見えてこないなので、納品の流れをイメージしながら混合在庫のメリットやデメリットについて説明していきます。

まずは、メリットから説明していきますね。  
混合在庫のメリットを理解する上で、まずは基本的な納品の流れを復習しながらいきましょう。

# 混合在庫で納品するメリット

まず初めに

①商品登録

↓

②FBA納品プランの作成

↓

③商品ラベルを印刷してすべての商品に商品ラベルを貼る

↓

④梱包して納品ラベルを段ボールに貼る

↓

⑤配送業者の配送ラベルを段ボールの外側に貼りつける

↓

⑥配送業者に配送してもらって終わり。

基本的には、このような流れになります。

③で行った商品ラベルの貼付は結構大変ですよ。

しかしこの混合在庫では、条件を満たした商品は  
商品ラベルを貼らずに納品することができます。

これ、かなり助かります。

これを活用することで、時間のかかる納品をより効率よく行うことができます。

# 混合在庫で納品するメリット

わずらわしい商品ラベルを貼る作業が減ることが、混合在庫の大きなメリットです。

次に混合在庫のデメリットについて説明していきます。

混合在庫のデメリットは、注文を受けた後、商品がFBA倉庫から購入者に送られるのですが、どのような状態の商品が送られるかがわからないということです。

あなたが完璧に梱包して納品していたとしても他の出品者と混合で保管されていますので、

- ・ 箱つぶれや
- ・ 値札のはがし忘れ
- ・ 新品とは言えない状態の商品

などでクレームが来る事も有ります。

中には、適当に送る業者もいるのが現状です。

じゃあ、自分も適当に送っても大丈夫！  
と考えるのはやめてください。

# 混合在庫で納品するメリット

Amazonでは、どの出品者がどの商品をAmazonフルフィルメントセンターに納品したかを、商品が倉庫に到着した時点から購入者に出荷されるまで追跡します。

悪いことをしていればバレますので、しっかりアマゾンのルールに則って納品しましょう。



混合在庫に出来る商品には条件があります。  
その条件とは、

1. 消費期限のない商品であること
2. バーコードを容易にスキャンすることが出来る商品である事
3. JAN/EAN/UPCが単一のASINに該当するものであること。

# 混合在庫で納品するメリット

4. 新品でバーコードのあるもの  
新品でも以下のカテゴリーは、混合在庫はできません。

- DVD
- PCソフトの一部商品
- TVゲームの一部商品
- パソコン・周辺機器の一部商品
- 時計
- ジュエリー
- 服&ファッション小物
- シューズ&バッグ
- ビューティー
- 食品&飲料
- ドラッグストア
- ペット用品
- エレクトロニクスの一部商品
- カメラの一部商品

混合在庫できない商品が細かく分かれています。納品プランを作成する中で、手順のガイダンスがあります。

それに沿って納品するだけなので、そこまで難しいものではありません。

はじめから混合在庫ができるのではなく、設定を変えないといけません。

混合在庫の納品ができるように混合在庫の設定を行います。

# 混合在庫で納品するメリット

ここからは、混合在庫をするための設定の流れになります。セラーセントラルを開いてください。

セラーセントラル画面の右上にある「設定」をクリックします。右端の部分ですね。



そこに出てくるFBAの設定を選択して、

「ラベルなし混合在庫」を有効にしてください。

入荷設定 <span>編集</span>	
出品に制限がある商品に警告を表示:	有効 <a href="#">詳細はこちら</a>
出品可否の警告を表示:	有効 <a href="#">詳細はこちら</a>
販売不可在庫の自動返送 / 所有権の放棄の設定 <span>編集</span>	
販売不可在庫の自動返送 / 所有権の放棄:	無効 <a href="#">詳細はこちら</a>
長期保管在庫の自動返送 / 所有権の放棄の設定 <span>編集</span>	
長期保管在庫の自動返送 / 所有権の放棄:	無効 <a href="#">詳細はこちら</a>
在庫の設定 <span>編集</span>	
ラベルなし混合在庫:	無効 <a href="#">詳細はこちら</a>
マルチチャネルサービスの設定 <span>編集</span>	
納品書 - 出品者名:	なし (設定しない) <a href="#">詳細はこちら</a>
納品書 - テキスト:	なし (設定しない) <a href="#">詳細はこちら</a>

これで、混合在庫の設定は終了です。

納品する際に混合在庫ができるようになりました。

# 混合在庫で納品するメリット

あとは、納品時にアマゾン側から手順を教えてくれるのでその通りに進めていくだけです。

納品時に失敗しないためのコツもお伝えしておきます。

## ① 混合在庫ができる商品かできない商品かの見分け方

納品時に商品ごとに振り合分けられるFNSKUを確認します。

このFNSKUの頭が「**B**」の時は、混合在庫が可能です。

「**X**」の時は、新品の商品でも混合在庫は不可能ですので必ず商品ラベルを貼付してください。

## ② 混合在庫で納品するときは、基本的に商品のバーコードは、すべて見える状態にしてください。

時々セキュリティーシールが貼られていることがありますが、この場合はセキュリティーシールを剥がすようにしてください。

# 混合在庫で納品するメリット

あくまでも商品にもともとついていいるバーコードが倉庫内での商品の識別に必要ですので、それ以外のバーコードは隠すようにしてください。

これを納品時にうまく使っていくと、出荷効率がアップしますので活用してみてください！